

宗教的声楽・合唱作品

#Bach,C.P.E: Die Israeliten in der Wüste	MC1/B118(9)/1
#Honegger,A:Une cantata de noel	MC1/H772/1
#Poulenc,F:Messe en sol majeur	MC1/P874/5
#Poulenc,F:Stabat mater	MC1/P874/6
#Mendelssohn,F:Elijah	MC1/M537/4
#Rossini,G:Stabat mater	MC1/R835/2
#Verdi,G.:Stabat mater	MC1/V484/1

合唱曲集(Chester版)

#The Flemish and German Schools for 5 voices)	MC1a/F598/3
#The Flemish and German Schools for 6 voices	MC1a/F598/4
#The German Schools for 4 voices	MC1a/G373/1

鍵盤用

#ラインハルト・オルガン教本	ME1/R369/1
#Händel,G.F: Suite for 2 keyboards	ME1/H236/#446

限られた予算のなかで収集をやりくりしている資料室にとって上記の宗教的声楽作品は寄贈されなければ入手しないものがほとんどです。

特筆されるべきは、エマヌエル・バッハの声楽曲が初めて入ったということです。エマヌエル・バッハは受難曲をはじめとしてオラトリオを多数作曲していますが、この「砂漠のイスラエル人」という一冊が入ったことは有意義です。

プーランク、ロッシーニ、ヴェルディのスタバト・マーテルもキリスト教音楽史上名曲ですが、バッハ以前を中心とした収集方針なので、今まで購入していませんでした。

チェスターの宗教合唱曲のシリーズはすでに何冊か入っていますが、私の評価の傾向で、フランスとフランドルだけを集め、ドイツ関係は買わずにいましたので、そのような偏りもこれで修正されたわけです。

杉本ゆり記